

第6学年3組 音楽科学習指導案

題材 日本の楽器の音色を味わってきこう

教材 「春の海」(鑑賞曲)

1. 児童の実態

本学級の児童は、これまでの鑑賞指導の学習過程において、長調・短調の違いを聴き比べることでその楽曲の持つ雰囲気を感じたり、同じ楽曲でも指揮者によって表現の仕方が変わることについて学んだりしてきた。また、世界の様々な音楽を聴いて、そのおもしろさや違いを感じたりした。

そのような学習過程の中で、児童は調性によって曲の感じが変わることに気付いたり、指揮者の意図で、同じ楽曲の休符や音符の捉え方が変わってくるにより演奏の仕方が異なることなどを知り、音楽を聴くことに興味を持ってきている。

世界の音楽においては、それぞれの音楽の楽しさやおもしろさについて、その音楽の持つ曲想に関連付けて(歌声の重なりがきれい、リズムがおもしろくて踊りたくなる、楽器の音がきれいなど)、聴くことができた。

しかし、これまでの鑑賞の学習において、主に外国の楽器や楽曲に触れる経験はあっても、日本古来の音楽や楽器に触れる学習の経験はほとんどない。

2. 題材について

～日本の楽器の音色を味わってきこう～について

本題材は、日本の音楽の特徴を感じ取り、楽器の音色を味わって聴くことを目標としている。具体的には、日本古来の楽器の特徴に触れ、その音色を知って演奏を聴いたり、その楽器によって表現される「海」の様子を想像しながら、その曲想を探ることで、楽曲の特徴をつかみながら、さらに味わって聴くことができるということである。そのために、鑑賞曲として「春の海」を設定した。

3. 教材について

楽曲分析「春の海」について

曲想 波にたとえた箏の旋律が、かもめの声に表現した尺八の音色と絡み合い、のどかな春の海の様子を表現した4拍子のゆったりとした描写的な曲

形式：A－B－A（3部形式）

リズム：A…16分音符中心のゆるやかな箏のリズムに、装飾音符がついた2分音符ののびやかな尺八のリズムが重なる

B…8分音符と16分音符の軽快なリズム

旋律：A…箏の高音へむかう順次進行による緩やかな旋律の動きに、尺八の下降する順次進行が対峙する旋律

B…箏の旋律が跳躍進行となり、尺八はそれを受ける形の旋律となっている

和声：A…緩やかな波の動きを表した箏の動きに、かもめの声を思わせる尺八の対峙した形

B…箏がたとえた陽気な舟歌に、春霞ののどかさが織り交ぜられた形

拍子：4分の4拍子
 調：ホ短調
 奏法：A…レガート奏
 B…スタッカート奏
 音色：A、Bを通して箏と尺八による2重奏
 速さ：A…Lento
 B…Allegro

教材解釈「春の海」について

曲想	楽曲の構成			
	形式	速さ	音色	旋律
春の海の様子を表現した、ゆったりとした描写的な4拍子の曲。	A・B・Aの2部形式。Aの部分は、のどかな春の海の様子に、かもめの声などを描写した曲。Bの部分は陽気な舟歌と春霞ののどかさを巧みにおりませた曲。	Aの部分は、ゆるやかなテンポで、のどかな感じを伝えている。Bの部分はやや速いテンポで展開し、後半少しずつテンポが緩められ、Aのテンポに戻る。	箏による波の表現により、日本の情緒的な雰囲気を醸し出している。また、尺八によるかもめの鳴き声とその姿を伝えている。	順次進行による箏の旋律から、おだやかな波の様子を表現している。Bでは、かもめを表す尺八の旋律と、舟歌にたとえた箏の旋律が対照的に跳躍し絡み合っている。

本教材で期待できる学習内容

手がかり	指導内容
曲想	「春の海」を題材としているので、持っている海のイメージを思い浮かべやすい。また和楽器の音色によって、日本の伝統音楽に浸ることができる。
速さ	Aの緩やかなテンポは、春ののどかなイメージをつかむことができる。そしてBの急速なテンポに移ることで、曲の感じが変わることに気づき、後半に少しずつテンポが緩められていくことで再びAの場面に戻っていくことを捉えることができる。
音色	日本の伝統音楽を味わうにあたり、身近な箏や尺八の音色によって表現された音色を聴くことで、日本古来の音楽に浸ることができる。

4. 指導にあたって

本教材の指導にあたっては、箏と尺八による二重奏による音の掛け合いの美しさや、和

楽器の響きを味わって聴くことで、音楽に聴き浸ることを目標としている。そのためまず、つかむ段階では、初めに楽曲を聴かせる。どこかで耳にしたことがある曲、それはいつの季節か、など児童に考えさせて「春の海」という題名について知らせる。また、箏、尺八について触れ、実物を見たり映像を見たりしながら音を聴き、楽器の特徴をつかむ活動を仕組む。

次に深める段階では、「春の海」を聴き、箏の音や尺八が、何を表しているかを想像させながら、児童それぞれが自由に思いをめぐらせながら聴き浸る。その中で、波はどのように動いているのか、かもめはどんな飛び方をしているのだろうか、といった曲想に沿った聴き方、感じ方（ゆるやかなテンポだから、波は緩やかでのどかな感じがする、かもめはその上を穏やかに飛んでいる、など）を話し合いながら、楽曲に対するイメージを深めていく。また、A－B－Aの形式で音楽が変化していく様子も捉え、その情景の変化に気づき、ひとつの楽曲の中で、曲想によって情景が変わっていくことを感じながら音楽の美しさに聴き浸ることをめざす。

最後に味わう段階では、「春の海」を聴いて想像した情景を思い浮かべながら、実際に音を表現する活動を仕組む。表現してみるのにはAの初めの一部、Bの初めの一部で、波の音を鍵盤ハーモニカなどで表現したり、かもめをリコーダーによって表現したりする。その活動をすることで、2つの楽器の重なり、速さの違いなどを実感した後、再び曲を鑑賞する。自分たちの演奏と、琴や尺八での演奏を聴き比べることで、楽器の音色によってイメージされる音楽の違いや、それぞれの旋律の動きをはっきりとつかみ、より深まった楽曲のイメージを持ちながら曲に聴き浸ることができると思う。

5. 指導目標

- 箏や尺八の音楽に興味を持ち、意欲的に楽曲を鑑賞したり視聴したりしている。（音楽に対する関心・意欲・態度）
- 楽曲を特徴づけている主な曲想を感じ取って鑑賞したり表現したりしている。（音楽的な感受・表現）
- 楽曲の曲想を感じて情景を想像し、音色の美しさに浸りながら聴くことができる。（鑑賞の能力）

6. 指導計画

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	①	1. 「春の海」を聴いて、曲について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・お正月によく流れる ・日本の曲 ・箏の音 2. 題名から、曲のイメージを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・お正月は、昔でいう「春」 ・海の様子を表している曲 	○題名は知らせず、耳にしたことはなにか、それはいつか、などを出させる。 ○情景写真を見せ、イメージを持ちやすくする。 ○初めのフレーズを口づきませたりして、楽曲に親しみを持たせる。

	<p>3. 楽器の音色や特徴について知る。 ・自分たちが普段聴いている曲と違う ・箏や尺八は、日本の伝統的な楽器</p> <p>4. 自分なりのイメージを持って、再び「春の海」を聴き、感じたこと、思ったことなどを学習プリントに書く。</p> <p>5. 今後の学習計画を聞き、めあてについて話し合う。</p>	<p>○尺八については実物を見せ、CD の音を聴かせる。</p> <p>○どんな様子を表しているか、などの情景を含め、思ったことなどを自由に書かせる。</p> <p>○これまでの学習を振り返り、楽曲を特徴付けている曲想に目を向けさせる。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">箏や尺八の演奏から曲の特徴をつかみ、「春の海」の情景を想像しながら聴こう。</p>	
<p>深 め る 時</p>	<p>① 1.. 曲について感じたことを出させる。 ・「春」ののんびりした感じがする。 ・ふたつの楽器の音がきれいに響いている。</p> <p>2. 前時に話し合っためあてを読み、曲の特徴を表す要素（曲想）にはどんなものがあるか確認する。 ・楽器の音 ・速さ ・音の重なり</p> <p>3. 曲想に気をつけながら「春の海」を聴く。</p> <p>4. 曲の特徴で気付いたことを出させる。 ・楽器は、琴と尺八 ・速さが途中で変わっているところがある。 ・琴が波を表しているようだ</p> <p>5. A の部分、B の部分での様子を簡単な言葉で表し、情景を思い浮かべる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">A …のどかな春の海に、一羽のかもめがのんびりと飛んでいる。 B …霧のむこうから一艘の船がやってきて、船頭が船をこぎながら歌を歌っている。</p>	<p>○前時を想起させる。</p> <p>○既習経験をもとに、楽器の音や速さ、音の重なりなどについて出させる。</p> <p>○曲を聴きながら、気付いた特徴があれば、メモをとらせる。</p> <p>○特徴として出た部分を取り出して聴いたり、簡単に口ずさんだりして捉えさせる。</p> <p>○特徴によって、どんな場面が思い浮かぶか考えさせる。</p> <p>○海やかもめ、船のイメージを持ちやすいように、情景画を提示する。</p> <p>○目をつぶって聴かせたり、かもめの登場、場面の変化などの気づきがあったところで手を挙げるなどの合図をさせたりして反応を確かめながら聴かせる。</p>

	<p>A …船は通り過ぎ、再びかもめだけが春の海の上を飛んでいる。</p> <p>6. 出来上がった言葉と情景を見ながら、曲を最後まで聴く。</p>	<p>○場面の变化など、黒板をさしたりして視覚的に捉えながら鑑賞できるようにする。</p>
味わう	<p>① 1. 春の海の波、飛んでいるかもめの様子を表している旋律を、自分たちで表現してみる。</p> <p>2. 表現して、気付いたことや感想を出し合う。 ・なだらかな旋律(順次進行)だから、波がおだやかな感じが伝わってくるんだな ・長く音を伸ばすことで、かもめがゆっくり飛んでいる感じがするんだな</p> <p>3. 「春の海」を聴き、箏と尺八が醸し出す音楽に聴き浸る。</p>	<p>○鍵盤ハーモニカやリコーダーなど、児童が普段から演奏していて音を表現しやすい楽器を選ばせ、旋律をつかませる。</p> <p>○全員が演奏するのではなく、音の動きをつかむためにグループで協力して取り組ませる。</p> <p>○表現して、気付いたことや分かったことを学習プリントに書かせておく。</p> <p>○演奏がスムーズにできているグループを VTR に撮っておく。</p> <p>○うまく演奏していたグループの VTR を見せ、旋律の動きを捉えさせる。</p> <p>○旋律について視点をあて、旋律によって、伝わってくる情景が変わっていることに気付かせる。</p> <p>○リコーダーや鍵盤ハーモニカの音と聴き比べ、音の響きから伝わってくる情景をよりはっきりと捉え、聴かせる。</p>

7. 本時 (2 / 3)

平成17年10月25日(火) 5校時 14時10分より 音楽室

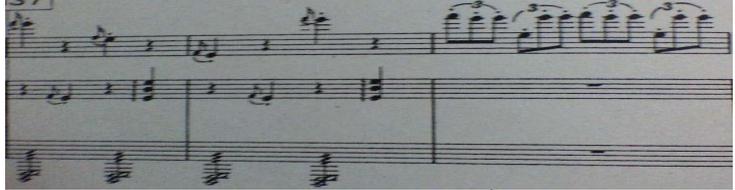
8. 本時目標

- 「春の海」の情景を表している楽曲の特徴を探ろうと意欲的に鑑賞している。(音楽に対する関心・意欲・態度)
- 楽曲の形式や、速さの変化、音の重なりなどを捉えることができる。(音楽的な感受や表現の工夫)

9. 準備

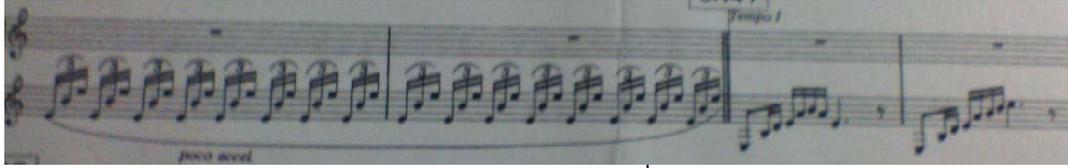
- ・観賞用 CD
- ・情景画
- ・学習プリント

10. 展開

学習活動と内容	教師の支援 (※評価規準… ○関(関) : 関心・意欲・態度、○感(感) : 音楽的な感受・表現)
<p>1. 前時の学習プリントから、前時学習を想起し、めあてをつかむ。</p> <p>2. 曲の特徴を表す要素（曲想）にはどんなものか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音 ・速さ ・音の重なり <p>3. 曲想に気をつけながら「春の海」を聴く。</p> <p>【Aの部分】 春の海の波と、飛んでいるかもめの情景を表している部分</p>	<p>○前時学習での板書を模造紙にまとめたものを掲示し、児童の意欲が高まるようにする。</p> <p>○既習経験をもとに、楽器の音や速さ、音の重なりなどについて出させる。</p> <p>○曲を聴きながら、気付いた特徴があればメモを取らせる。</p> <p>(※楽曲の要素に着目しながら聴いている…学習プリントへの書き込み : ○関(関)・○感(感))</p>
 <p>かもめの鳴き声が特に描写的に感じられる部分</p> 	
<p>【Bの部分】 テンポが上がり、箏と尺八の掛け合いが始まる</p> 	

【Aの部分】

激しい箏が次第に落ち着き、再びAの部分に戻る



4. 曲の特徴で気付いたことを出させる。

- ・楽器は、箏と尺八が重なり合うような演奏
- ・箏のゆるやかな音程が波を表している
- ・速さが、途中で変わっているので、場面が変わっているようだ

・A …箏がゆるやかな旋律だから、波がおだやかな感じが伝わってくる

・A …尺八の音が長く伸びていて、かもめがゆったりと広い場所を飛んでいるような感じがする

・B …テンポが速くなったから、場面が変わっているようだ

・B …箏の旋律が高くなったり低くなったりして、動きがあるから、波が少しゆれているような気がする

5. Aの部分、Bの部分での様子を簡単な言葉で表し、情景を思い浮かべる。

・A …のどかな春の海に、一羽のかもめがのんびりと飛んでいる。

・B …霧の向こうから一艘の船がやってきて、船をこぎながら歌を歌っている。その様子をももめが、遠ざかったり近づいたりしながら見ている。

・A …船は通り過ぎ、再びかもめだけが春の海の上を飛んでいる。

6. 出来上がった言葉と情景を見ながら、曲を最後まで聴く。

○特徴として出た部分を取り出して聴いたり、簡単に口ずさんだりして捉えさせる。

○特徴によって、どんな場面が思い浮かぶか、考えさせる。

○海やかもめ、船のイメージを持ちやすいように、情景画を提示する。

○目をつぶって聴かせたり、かもめの登場、場面の变化などの気づきがあったところで手を挙げるなどの合図をさせたりして反応を確かめながら、聴かせる。

(※場面の移り変わりに気付いたり、曲想と情景を関連付けたりしている：感)

○ゆるやかな波の様子からどんな情景が浮かぶか、波に動きがあったのはなぜだと思うか、など様子が伝わった特徴に心がけながら言葉を選ばせる。

(※グループでの話し合いに、意欲的に発言している：関)

○場面の变化など、黒板を指したりして視覚的に捉えながら鑑賞できるようにする。

(※情景を思い浮かべながら聴こうとする：感)

<p>7. 学習のまとめをし、プリントにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を想像して聴くことができた ・ 他の箏や尺八の演奏も聴いてみたい ・ 楽器で情景を想像することができることがわかった 	<p>○プリントにまとめ、前時の学習と比べることで、「春の海」に対するイメージが膨らんだことを実感させる。</p> <p>(※学習プリントを意欲的に書いている：関)</p> <p>(※楽曲の要素に気付いた感想を書いている：感)</p>
--	---

1 1. 板書計画

日本の楽器の音色を味わってきこう

琴や尺八の演奏から曲の特徴をつかみ、「春の海」の情景を想像しながら聴こう。

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>情景画 (Aの場面)</p> </div> <p>楽器…箏と尺八の2つ 速さ…ゆったり。途中速くなって、 またもとの速さに戻る。 音色…箏と尺八の2つの楽器 旋律…箏→波 (ゆるやか)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>情景画 (Bの場面)</p> </div>	<p>曲の特徴</p> <p>楽器…琴と尺八 速さ…ゆったり。途中速く なってまたもとの速さに戻る。 音色…琴と尺八の2つの楽器 旋律…ゆるやか</p> <p>A…春の海がのどかに波 うっている。そこに1匹 のかもめがやってきて、 ゆるやかに海の上を飛ん でいる。</p>	<p>情景</p>
---	--	-----------

B…波がしぶきを上げ、小さい